

地域での活動

認定コーチ研修会

11月12日(土)、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本(*1)が開催する「認定コーチ研修会」に参加しました。



今回の講義内容は「競技会運営」と「ディビジョニング(*2)」。いかに“参加者の満足度を高めるか”という視点で研修を受けました。

(*1)知的障害のある人たち(アスリート)に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織
(*2) 同程度のアスリート同士が競い合えるようにするために、グループ分けをすること



バレーボール・プログラムの主任コーチとして、普段の練習でも「アスリート同士が協力しながら高め合う」という環境を作っていきたいと考えています。こうした研修の成果は、個々のアスリートの“参加満足度”を高め、**障害者スポーツをさらに振興していけるように、活かしていきたい**と思います。

読み聞かせ

12月16日(金)、**区立小学校にて「読み聞かせ」**を行いました。

今回の担当は4年生で、私にとっては初めての子ども達。また、学校側の新たな取組みとして、「いつものクラスではなく、学年の中で読み聞かせ向けにクラスを再編」した、とのこと。子ども達も、いつもとは少し異なった緊張感があったようです。



今回の「読み聞かせ」で使用した本



終了後の「振り返りの会」では、司書の方から「保護者が読み聞かせに選んだ本は、子ども達が自らも読もうとする傾向があるので、学校図書室にない場合は、追加で購入する」旨を伺いました。

「子ども達が自然と本に親しむ環境づくり」に直接関わりながら、様々な現場での工夫についても把握していきたいと思います。

次回の定例区議会(平成29年第1回定例会)は、2月13日(月)開会予定です。

区政に関する意見交換会開催 (入場無料)

- 第69回 2月22日(水) 19:00~20:30 久我山会館(久我山3-23-20) 第一・第二集会室
- 第70回 2月25日(土) 13:30~15:00 高井戸地域区民センター(高井戸東3-7-5) 第九集会室

意見交換会の内容

□ 平成29年度 杉並区予算(案) について

平成29年第1回定例区議会(2月~3月)は、平成29年度杉並区予算(案)の審議が中心になります。予算委員会の前に、平成29年度杉並区予算(案)についてご説明し、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ぜひご参加ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。
FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告 第53号(平成29年新年号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX; 03-3247-8660 E-Mail; ikuma@gakushikai.jp
HP; http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成27年5月より4期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(13歳)、長女(11歳)、次男(9歳)。

杉並区の財政見通しを考える

平成28年11月、杉並区の中期計画である「杉並区実行計画(平成29年度~31年度)」が公表されました。あわせて、事業実施の根拠となる「財政計画」も示されましたが、財政悪化が非常に懸念されます。

財政計画の比較(現計画と次期計画(抜粋))

	平成27~29年度	平成29~31年度	説明
歳入(収入)			
基金繰入金(貯金の取崩し)	78億円	191億円	貯金の取崩しが大幅増加
特別区債(借金)	62億円	180億円	借金が大幅増加
歳出(支出)			
公債費(借金の返済)	72億円	67億円	借金返済額はあまり変わらず



実際の区政運営においては、
● 区税収入等の増による歳入増
● 行政改革の成果や施策の未実施等による歳出減
等により、財政計画から一定の改善はなされます(例えば、平成27年度において、財政計画上は貯金を28億円取り崩す予定でしたが、特別区財政交付金が財政計画での見込みより20億円多かったこと等により、逆に43億円を積み増しました)。また、現在の財政状況(平成27年度決算)は、
● 積立基金(貯金)残高: 461億円
● 区債(借金)残高: 220億円
ですので、今すぐに「財政危機」に陥るわけではありません。



しかし、**平成31年度以降、築後55年を迎える学校が急増**することから(平成31~40年度で38校)、今後は毎年2校ずつ改築することが計画されています(『杉並区立小中学校老朽改築計画』平成26年5月)。
* 学校改築費は、概ね1校あたり30億~40億円。
また、**区役所本庁舎(東棟)も昭和38年竣工であり、既に築53年を経過**しています。こうした状況をしっかりと踏まえれば、昨年の「保育緊急対策」のような場当たりの・その場しのぎの施策を行うのではなく、**未来にツケをまわさない、長期を見据えた計画的な区政経営が必要**です。このような視点をしっかり持って、今後の予算(案)等の審議においては、**施策の優先順位や財政とのバランスをしっかりとチェック**してまいります。

委員会視察

10月18日～20日、区民生活委員会として視察を行いました。

< 視察都市 及び 視察テーマ >

福岡県 北九州市	フィルム・コミッション(*1)について (*1)映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関
	ウーマンワークカフェ北九州(*2)について (*2)就業、キャリアアップ、創業、子育て支援等、女性の活躍を総合的に支援するワンストップ窓口
大阪府 堺市	市民交流広場の活用について
	さかい利晶の杜（堺市文化観光拠点）について
静岡県 富士市	富士市産業支援センター「f-Biz」について

「映画の街・北九州」を目指した施策を通じた、市のブランドイメージ向上とまちづくりへの取組みを視察

国・県・市の三者連携による女性の活躍に対する応援体制を視察

市役所及び隣接する堺地方合同庁舎前広場の有効活用策について視察

堺市ゆかりの「千利休」と「与謝野晶子」をテーマとする文化観光振興策について視察

視察の背景

杉並区では、区内産業振興の拠点として平成24年度に産業振興センターを設置しました。

ここでは、各種産業経済団体と行政が同じフロアで執務を行う体制を整え、連携しながら区内産業の活性化に取り組んできました。

一方、国では、中小企業支援事業として、産業支援拠点である「よろず支援拠点」を全国各地に展開しています。

今回の視察では、区内産業振興の更なる方策を探るため、「よろず支援拠点」のモデルとなった先駆け施設である「富士市産業支援センター(f-Biz) (平成20年8月開設)」を訪れました。

f-Bizの主な特徴

- ◆ 公設民営で、運営は民間事業者に委託
- ◆ ビジネスコンサルティングによる課題解決型の支援を行っている
⇒「いかに販路を拡大するか」「セールスポイントは何か」等の「知恵を出すところ」であり、いかにお金をかけずに売上がアップさせるかに注力している

視察では、小出センター長自ら非常にパワフルにご説明をいただき(一番下の写真)、委員との意見交換も活発に行われました。産業支援とは結局のところ「売上アップ(利益アップ)」である以上、支援拠点の設置は公共財として行政が行っても、運営は(利益追求組織である)民間に任せるとい仕組みは、理に適っています。

杉並区における地域産業活性化の次なる一歩としては、「公募センター長の登用」等、民間活力のさらなる活用を考えていくべきではないかと思ひます。

<参考>小出センター長の説明によれば、既存の産業支援機関が抱える一番の課題は「期待される産業支援人材の不足」であり、この解決のため、「よろず支援拠点では、年収1,200万円の単年度契約で、人材を公募する」というモデルを構築した、とのこと。



堺市庁舎前にて



富士市での視察の様子(上・下とも)



議案審査

11月22日(火)、杉並区の交流自治体である「^{そつちよ}瑞草区(大韓民国ソウル特別市)」に議員を派遣する議案の採決が行われました。私は、下記理由から反対しました。

議案の概要

<派遣の目的>

杉並区と瑞草区の友好都市協定締結25周年の節目をお祝いするとともに、友好親善を一層深めるため

<議員派遣の根拠>

瑞草区長からの区長・議長への招請 及び (招請に伴う)杉並区長からの訪問議員派遣依頼

<派遣期間>

12月19日～21日



周年行事に伴う友好都市への議員派遣自体は、私は否定しておりません。

しかし、本来は5年毎にお互いが行き来しており、今回は瑞草区側が杉並区を訪問する順番です(前回の平成23年は、杉並区が瑞草区を訪問)。

瑞草区側の事情もあるようですが、杉並区側が続けて訪問することに対し、納得できる理由を見出せなかったため、議案に反対しました。

なお、残念ながら議案は賛成多数で可決され、5名の議員が派遣されることになりました(私が所属する会派は議案に反対しましたので、派遣議員はおりません)。

調査活動

オリ・パラ授業

12月13日(火)、区立小学校で行われた「オリンピック・パラリンピック教育授業」を見学しました。

講師は、パラリンピック水泳(視覚障害)の木村敬一選手(2016年リオデジャネイロでは、銀2個、銅2個を獲得)。2時間目に1～3年生、3時間目に4～6年生が、木村選手のお話をお聞きました。

授業の中では、選手に着用が義務づけられている不透明のゴーグル(公平を期すため)や、壁が近いことを知らせるタッピング棒を、代表児童が体験。

また、授業終了後には、参加児童全員が、銀・銅メダルを触らせていただけていました。

なお、授業終了後、木村選手は児童と一緒に給食を食べてくださったようです。

全盲という障害を持ちながら、一流アスリートを目指し、実現された方からのお話は、子供達にとって貴重な機会になったと思います。夢を諦めず努力することや、「障害」に対する認識等、子供達なりにこれからの生活に活かして欲しいと思います。



連合音楽会

12月1日(木)、杉並公会堂で行われた「第68回 杉並区立小学校 連合音楽会」を見学しました。

午前の部には、9校が参加。各校が順次、合唱及び合奏を発表しました。



当日は、かつてPTA活動に長く携わられていた教育委員の方から、色々と教えていただきながら合唱・合奏を聴きました。各学校の「合唱から合奏への隊列移動の迅速さ」等も、目をみはるものがありました。

1,000人収容の大ホールで大勢を前に発表する経験、また、多くの学校が集まることで他校の様子を知ることが出来るこうした機会は、区立小学校だからこそ出来ることとして、今後も続けてほしいと思います。